



FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB 藤枝南ロータリークラブ会報

2017-2018年度 R1テーマ
ロータリー:

変化をもたらす



例会：毎週金曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL:054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL:054-647-2300
E-mail: club1991@fujieda-rotary.org FAX:054-647-2040

会長：江崎 直利 副会長：飯田 敏之
幹事：桑原 茂 副幹事：漆畑 雄一郎

第1233回



新幹事挨拶

2010.7.2

♪ソング…君が代・奉仕の理想
♪ソングリーダー…瀧脇 一啓君

通常例会/小杉苑



■ 会長 報告

江崎 直利君

本日最初の理事会を開催して承認をいただきました
各委員長のこだわりの企画が報告されとても楽しみです
今回クラブ計画書も長年の修正箇所を改善し担当者には大変なご苦勞をおかけしました。
まだ多少は修正が必要かもしれませんが、しかしありがとうございました
昔、菅原道真が大宰府に左遷され怒りで雷神になったとき、彼の出身地(桑原)を唱えると雷は落ちなかったという言い伝えがあります
私も困ったら「くわばら くわばら」と唱えて助けてもらいながら「なんだかうれしい」一年を努めたいと思います



■ 理事会 報告

桑原 茂君

- ・8・9月プログラムは承認されました。
- ・ガバナー補佐訪問について、7月14日(金)訪問者は国際ロータリー第2620地区第5分区福島吉衛ガバナー補佐 市川充宏ガバナー補佐事務局長がお越しになります。
- ・7月28日移動例会(お花畑)について、第8回あつつい夏だからお寺でこわーい!お話会が18時30分より華笑園で開催されます。
- ・8月25日納涼夜間例会について、小杉苑3階「藤」で行われます。
- ・高野山について、承認されました。
- ・2018-2019年度 分区構成について、確定事項を確認し承認されました。
- ・事務局休暇のお知らせについて、MU表にて報告致します。

■ 幹事報告

桑原 茂君

- ・第 2620 地区より
英字版 R o t a r i a n が届きました。
2016-2017 年度ガバナー事務所閉鎖のお知らせが届きました。
7月のロータリーレートは、1ドル=111円と本部より連絡がありました。

■ 出席報告

加藤 智之君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
41/48 85.42%	45/48 93.75%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○富澤静君 ○中村君 ○村松君 ○渡邊芳君
内山君 藪崎幸君 川口君

(2)メイクアップ者

富澤 静雄君(焼津・藤枝) 早川 清人君(焼津・藤枝)
伊藤 恒夫君(藤枝) 小林 正敏君(藤枝)
渡邊 博文君(藤枝) 玉木 末雄君(藤枝)
古川 賢吾君(藤枝) 漆畑 雄一郎君(藤枝)
中山 恵喜君(藤枝) 梅島 純夫君(藤枝)
渡邊 芳隆君(焼津南)

■ スマイルBOX

藪崎 茂君

- ・江崎会長の船出の日に急遽、東京出張になり
申し訳ない！1年間楽しみで「なんだかうれしい
です」です！◆誕生日のプレゼントありがとう！
富澤 静雄君
- ・「なんだかうれしい」がひとつでも見つかる一年に
したいと思いますので、ぜひ助太刀のほどよろ
しくお願い申し訳ありません。 江崎 直利君
- ・本年度 幹事をおおせつかりました桑原です。
時の会長を一番に思い、時の会長を一番に支え、
時の会長、江崎直利会長を男にします。一年間
よろしくお願い致します。 桑原 茂君
- ・ガバナー補佐として、一年間何とか無事に責を
果たす事ができました。山田会長以下南クラブ
全会員のご支援ご協力に感謝です。
朝比奈 潔君
- ・一年間お世話になりました。楽しい一年間を
過ごさせて頂きました。ありがとうございました。
山田 壽久君
- ・皆様のご協力が無事、幹事職を終える事が出来
ました。一年間ありがとうございました。
渡邊 博文君

渡邊 博文君

- ・本年度、会計を拝命いたしました。予算が厳しい
ので無断欠席による昼食のロスをなくして
頂けるようお願い致します。 若林 秀典君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます。
小林 正敏君
- ・誕生日・結婚記念日のプレゼントありがとう
ございました。 内藤 浩光君
- ・私と家内の誕生日祝ありがとうございます。
夫婦仲良く頑張っています。 早川 清人君
- ・誕生日プレゼントありがとうございます。毎年
ながら新年度早々にうれしいです。 平原 望君
- ・ガバナー月信投稿しました！！みて下さい。
高杉 光洋君

スマイル累計額 78,000円

■ 会長挨拶

江崎 直利君

今期 R I のテーマ
は変化をもたらす
です

同時に当クラブに
掲げたのがなんだ
かうれしいです

自分もこの両方を

どうやってリンクさせていくかが課題です 以前
から

心が揺れ迷った時は詩や絵本から言葉を探し得る
のがいいと思っています

最初の例会ですので、変化については詩から解釈を
見つけました。また奉仕については一冊の絵本を
紹介してみたいと思います まず

ラインホールドニーバーの祈りの詩です
神よ

変えることのできるものについて それを変える
だけの勇気をわれらに与えたまえ

変えることのできないものについては

それを受け容れるだけの冷静さを与えたまえ

そして 変えることのできるものと 変えること
のできないものとを 識別する知恵を与えたまえ

次に奉仕について考えてみる絵本です

ひとりの平凡なおじさんが、不安な日々を過ごして
いて ある時口からでた何気ない言葉でゆるやかな
繋がりができていくストーリーです
身近なところにちっぽけな奉仕が
あると気づく本です

「なにかわたしにできることは」

西村書店刊



■ 幹事挨拶

桑原 茂君

みなさん、こんにちは・・・

幹事を仰せつかりました桑原茂です。宜しくお願い致します。



いよいよ江崎年度

が本日よりスタートしました。

幹事予定者になってからは、山田会長、渡邊幹事、会長幹事経験者の先輩方から多くのアドバイスやエールをいただきました。本当にありがたいことです。

また、それぞれの各委員長予定者の皆様も今日のこの日を迎えるにあたって一生懸命に準備を重ねてきてくれました。

本当にありがたいことです。心から感謝いたします。

私も藤枝南ロータリークラブ在籍 10 年になりました。

今までは、準備されてきたものに乗っかっているだけのロータリー生活でした。

10 年が経ち、幹事という大役を全うすることがこのお世話になっている南クラブへの少しのご恩返しになるのかなと思います。

初代富澤会長から教えていただいた言葉の一つに、『時の会長が一番である』という言葉があります。私自身、江崎年度の幹事として、『江崎会長を一番に思い、江崎会長をしっかりと支え、江崎会長を男にしたいと思います』

皆様一年間どうか宜しくお願い致します。

簡単ではありますが、幹事のご挨拶とさせていただきます。

■ 委員会活動方針

財団米山委員長
稲葉 俊英君



米山記念奨学会とロータリー財団に関して話をさせていただきます。

クラブによって違いますが、財団と米山と別々の委員会に分かれているクラブと私どもように

一体のクラブがあります。が、いずれにしても会員の皆さんにその活動を理解してもらいながら寄付を集めるための委員会だと考えています。会員の皆さんが負担しているものには、クラブ年会費から支出している

- ・ R I 人頭負担金 US \$ 60.
- ・ 規定審議会年次賦課 US \$ 1. 50
- ・ 地区資金負担金 ￥ 21, 000.

の三つがあります。

負担金以外の寄付金については、特別会費の中から寄付されています。今年度は

- ・ ロータリー財団年次寄付 US \$ 100.
- (目標額にそうようにクラブで)
- ・ 米山記念奨学会特別寄付 ￥ 10, 000.
- (普通寄付金以外の任意寄付)
- ・ 米山記念奨学会普通寄付 ￥ 2, 000.
- (全会員からの定期寄付、金額はクラブで)
- ・ 米山記念館寄付 ￥ 500.

の寄付を行います。

財団寄付は US \$ 1, 000. になるとポール・ハリス・フェローとして認証されます。また米山記念奨学会特別寄付は ￥ 100, 000. 毎に米山功労者として表彰されます。

それ以外として、財団の恒久基金へ US \$ 1, 000. 以上寄付をした人はベネファクター(後援者)として認定されます。

私どもの藤枝南クラブは、入会后 10 年を経過すればそれぞれポール・ハリス・フェロー及び米山功労者として認証・表彰を受けており、寄付の金額の多少ではなく十分にそれぞれの機関に貢献しているものと自負しています。

国際ロータリーの使命は 1. 他者に奉仕すること 2. 高い倫理的基準を推進すること 3. 世界理解、親善、平和を推進すること の3項目からなるが、ロータリー財団の使命はその3番目の使命にあたり、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

年次寄付は全員からの寄付で、3年間資金運用され、その収益がロータリー財団運営や、寄付増進のための費用に充てられ、3年後寄付金のすべてがロータリー財団活動に使われます。

ロータリー財団の補助金には地区補助金とグローバル補助金の2つがあります。地区やクラブが計画したプロジェクトを支援するものですが、今年度は残念ながら時期を失ってしまい補助金を

受けることができませんでしたが、金額とか日程などにさまざまな条件があるので、前の年度から補助金を受けることを想定して計画を立てる必要を感じました。一方、米山記念奨学会事業は日本独自の事業であり、1952年東京ロータリークラブが立ち上げ、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。単に経済的な支援ではなく、優秀な人材を支援することにより、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することこそが、ロータリーの目指す[平和と国際理解の推進]そのものです

■ 今週の一言

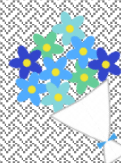
渡邊 博文君



昨夜、夏ばて予防に、妻と焼肉を食べに行きました。その中での会話です。今世間を大変にぎわせている国会議員の女性の件で、あまりにもマスコミが一方的に個人攻撃をしすぎではないか？社会的な制裁をやりすぎと感じるが、どう思うか聞いてみました。彼女の答えは、「あのような人を馬鹿にしたような暴言を連発する人は、暴力を振るう人、目上の人に敬意を払わない人、部下を大切にしない人は、これくらいのことをしないと自分がしたことを気づかないし、反省をしない。東京大学・ハーバード大学を卒業した人が、人間的に優れていると考える世間の風調が間違っている。これで、世の中の人も十分に解ったと思う。」と男気発言に、なんだか嬉しくなりました。



7 月のお祝い
おめでとうございます



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
7/14(金) 第 1234 回	ガバナー補佐 訪問	
7/21(金) 第 1235 回	委員長挨拶	
7/28(金) 第 1236 回	移動例会① (お花畑事業)	青少年事業 ※夜間例会
8/4(金) 第 1237 回	会員増強維持 委員会 担当	理事会

■ 日常のなんだかうれしい 杉浦 聡君



6月初旬、裏庭の木にヒヨ鳥が巣を作りました。
扉を開けて50cmほどの近い場所で、毎日鳥と目が合います。

なんだかうれしいが、こんなに近くにありました。
これからも日常の「なんだかうれしい」を気ままに
投稿致します。

週間杉浦文春 編集長



(担当/飯田君)